



平成24年2月10日（金）江東区立東砂小学校にて
「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」
の「くすり教室：実験講座」を開催

特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構は、国民にくすりを安全に安心して使っていただくために薬剤師や国民に対する教育講演や学会を開催しています。その活動の一つとして、小学生にもくすりのことを知ってもらおう講演会や体験実験を行っています。

江東区立東砂小学校のPTA会長である松原英男様のご尽力により、平成24年2月10日（金）、同小学校にて「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」の「くすり教室：実験講座」を下記の内容で開催しました。当日は、江東区立東砂小学校の関係者のご協力により、小学生4年生46名が参加しました。講義と体験実験は、大変分かり易かったと大好評でした。

江東区立東砂小学校における「くすり教室」

日時：平成24年2月10日（金）10時45分～12時20分

場所：江東区立東砂小学校 理科室

内容

- ・「実験を始める前のお話し」：Q&A方式
くすりをどのように飲んだら良くきき、副作用を防ぐことができるか、名城大学薬学部の学部生が漫画を使ってわかりやすく説明しました。
- ・「体験実験」
児童は9グループ（1グループ5～6名）に分かれ、お話の内容をより理解できるように、特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構理事長鍋島俊隆先生を中心に、林俊宏理事、野田幸裕会員、医薬関連企業関係者、名城大学薬学部の学部生が小学生と共に実験を行いました。

＜実験項目＞

1. どうして「カプセル」になっているのだろう？
2. コップ1ぱいの水かぬるま湯でくすりを飲むのはなぜ？
3. コップ1ぱいの水かぬるま湯にも例外があるのを知ってる？
4. 「ざやく」ってなんだろう？
5. くすりを「お茶」で飲むとどうになってしまうの？

制作：名城大学薬学部病態解析学Ⅰ
（櫛田真由、山下加織、野田幸裕）
監修：名城大学薬学部薬品作用学
NPO J-Do
（鍋島俊隆）

